

保護者負担軽減計画について

<京都府提出資料>

学校名	ノートルダム女学院高等学校
所在地	京都市左京区鹿ヶ谷桜谷町110
電話番号	075-771-0570

<p>(1) 建学の精神</p>	<p>創立以来、時代のニーズに応えながらキリスト教精神に基づく〈Virtus et Scientia〉「徳と知」を建学の精神として教育活動を展開してきました。「徳」とは〈愛する〉〈希望する〉〈受容する〉〈共感する〉等に表される人間の内面の力。「知」とは知識や知的能力を超える知恵を意味します。</p>																																										
<p>(2) 本校の特色及び将来展望</p>	<p>「徳と知」の精神を、「キリスト教教育」「グローバル教育」「女子教育」を3つのカテゴリーとして教育の柱にしています。3つの教育を具現化、すなわち「個の尊重」（一人ひとりの可能性の開花）、「心の育成」（ノートルダムスピリットの醸成）を教育プログラムとして、キリスト教的全人教育を目指します。</p>																																										
<p>(3) ・令和5年度納付金</p> <p>※学科やコースによって納付金に差異がある場合は最低額を計上。</p> <p>・今回改定 あり なし</p> <p>・前回改定 平成25 年度</p>	<table border="1" data-bbox="760 1062 1900 1498"> <tr> <td>【1年生】</td> <td>入学金</td> <td>施設拡充費 (入学時)</td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計 (入学時除く)</td> <td>審査料</td> </tr> <tr> <td></td> <td>150,000</td> <td>0</td> <td>580,000</td> <td>200,000</td> <td>780,000</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>【2年生】</td> <td></td> <td></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>580,000</td> <td>200,000</td> <td>780,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>【3年生】</td> <td></td> <td></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>580,000</td> <td>200,000</td> <td>780,000</td> <td></td> </tr> </table> <p>*施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。</p>	【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	審査料		150,000	0	580,000	200,000	780,000	20,000	【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計					580,000	200,000	780,000		【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計					580,000	200,000	780,000	
【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	審査料																																					
	150,000	0	580,000	200,000	780,000	20,000																																					
【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																						
			580,000	200,000	780,000																																						
【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																						
			580,000	200,000	780,000																																						
<p>・今後の納付金に対する考え方</p>	<p>少人数によるきめ細やかな授業、授業を補完する計画的な補習等、教師の目が十分に行き届く教育指導体制を引き続き維持します。各学年にプレップ総合コース、グローバル英語コース、STE@M探究コースを導入しており、さらに高いレベルでの教育の実践に努めます。納付金の用途については、今後も公明性・経営効率に十分留意します。引き続き生徒のよりよい教育環境の維持、更なる充実を第一に考え、各種経費節減に向け鋭意取り組みを強化いたします。</p>																																										
<p>(4) 教育内容、施設整備の改善・拡充等の状況</p>	<p>建学の精神である「徳と知」をより解りやすい4つの行動で表した『ミッションコミットメント』（「尊ぶ」：人と自分、物と自然の全てに敬意をもって向き合う。「対話する」：心をこめて聴き、かわりから学び、真理を探究する。「共感する」：心を開き、人や時代の要請に敏感な感性を持つ。「行動する」：対話し、決断し、責任を持って人々の幸せと世界平和のために行動する。）を具体化するために各学年の重点ポイントを設定、諸行事、ロングホームルーム等の活動に連動させています。施設設備においては、ICT設備をさらに充実させ、新しい時代の学びを支えます。</p>																																										
<p>(5) 令和5年度の保護者負担軽減策及び考え方</p>	<p>家計急変等により学費納入が困難な世帯に対しては、「本校独自の授業料減免制度」を適用し、少しでも授業料の負担が軽減できるように努めます。</p>																																										
<p>(6) 今後5年程度の保護者負担軽減計画</p>	<p>京都府の「あんしん修学支援制度」の趣旨を尊重し、制度に見合った「本校独自の授業料減免補助金」を適用し、保護者の負担を出来る限り軽減するよう十分留意します。</p>																																										